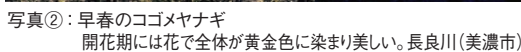
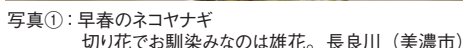


森林文化アカデミーのある岐阜県美濃市周辺の河川敷で普通に见られるヤ



で根元が水につかることはあっても、普段は水につからない流路から少し離れて高い場所に生育しています。樹高も大きくなり、20 m以上になることも珍しくありません。これは増水による攪乱で木が根こそぎ倒される機会が少ないことと関係がありそうです。カワヤナギは生育場所も大きさも前二種の中間くらいになります。同じヤナギで

ヤナギのこと

種類が違っても河川沿いに生活の場を持つヤナギ属の樹木には共通の生態的特徴があります。それは栄養繁殖を旺盛に行う、という点です。たとえば強い流れで太い枝から細かい枝までが途中で千切れて流されてしまっても、幹ごと流されてしまっても、流れ着いた先で芽を出し、根を出して新しい幹を仕立てることができのです。多くの動物と違って、部分が残っていれば個体が再生できる植物の特性を存分に活かしているといえるでしょう。頻繁に増水して攪乱に遭いやすい立地に生育しているヤナギたちにとっては分布を広げるのにも役立つ合理的な生態だと思えます。

13 MORINOTAYORI